

試合番号 : 465		試合会場 : スカイホール豊田 (豊田市総合体育館)				観客数 : 1,189				
開始時間 : 12:00		終了時間 : 14:07		試合時間 : 02:07		主審 : 吉岡 奈々		副審 : 饗庭 和恵		
トヨタ車体クインシーズ		通算 13勝 17敗 ポイント : 36		20 第1セット 25		KUROBEアクアフェアリーズ		通算 9勝 20敗 ポイント : 26		
監督コメント	ホームゲーム2戦目、なんとか勝ちにつなげたいゲームであったが、接戦をものにするまでにはできず非常に悔しいゲームであった。残り3試合、1つでも勝ち星を取れるようにチーム一丸となって戦いますので応援よろしくお願ひします。ホームゲームたくさんの方にお越しいただき、本当にありがとうございます。			1	24 第2セット 26		3	敗戦が続き非常に苦しい状況であったが、選手たちがよく頑張ってくれました。相手チームのホームゲームで声援の多いナリドしても追いつかれる状況が続いたが、要所で受け身になることなく攻められたことが勝利につながった。試合も残り少なくなったが、更に成長できるようトレーニングし、パレールを楽しみたい。本日も応援ありがとうございます。		
	25 第3セット 23									
	22 第4セット 25									
	第5セット									
	監督コメント									
要約レポート 今シーズン最後のホームゲームで連勝を狙うトヨタ車体クインシーズとKUROBEアクアフェアリーズの一戦。第1セット、KUROBEは佐藤(黎)、イヴェギン、山口が随所でブロックを決め大きくリードを広げる。トヨタ車体も大川、ダニエル、ハッタヤのブロックやサービスエースで点差を縮めるもリードを保ちKUROBEがセットを取った。第2セット、KUROBEは序盤から効果的なサーブとコクラム、佐藤(黎)、イヴェギンのブロックで流れを掴むと中盤までリードする。トヨタ車体は19-23から嶋原の好サーブとダニエルの高いスパイクでデュースまでつれ込む。最後はKUROBEコクラムが連続スパイクを決めてこのセットも連取した。第3セット、序盤は点差が広がらないスタート。9-9からトヨタ車体は大川がスパイクを決めると、ハッタヤのスパイクとブロック、ダニエルのサービスエースでリードを広げる。KUROBEはイヴェギン、佐藤(黎)、コクラム、高橋のスパイクで追いかけるも届かず、トヨタ車体がこのセットを取った。第4セット、KUROBEは序盤に高橋のスパイクとコクラムのサービスエースで5連続得点、中盤にコクラムと佐藤(黎)のスパイクによる3連続得点でリードする。トヨタ車体はダニエルの高い打点からのスパイクで同点に追いつくと、途中から入った吉永の好リブからダニエルがブロックを決め逆転する。KUROBEは佐藤(黎)のブロックで再逆転すると最後は高橋がスパイクを決めて勝利した。										

試合番号 : 466		試合会場 : スカイホール豊田 (豊田市総合体育館)				観客数 : 1,120				
開始時間 : 15:00		終了時間 : 17:11		試合時間 : 02:11		主審 : 明井 寿枝		副審 : 小松 剛		
東レアローズ		通算 24勝 6敗 ポイント : 67		28 第1セット 30		デンソーエアリービーズ		通算 13勝 17敗 ポイント : 41		
監督コメント	強いサーブで崩され、攻撃も上手く機能させられず、とても難しい試合だった。お互いに攻撃が一本では決まらず、ラリーをどうものにするかが勝負の分水嶺だった。第3セット以降は守備から粘り強く点数をとっていき良くなった。本日は応援ありがとうございます。来週も良い準備をして挑みますので、応援をよろしくお願ひします。			3	23 第2セット 25		2	昨日の敗戦から気持ちを切り替えて、昨日以上に全員の方を結集して戦おうと試合に臨みました。序盤からサーブとディフェンスで、リズムと勢いをつくることができました。中盤からは相手のサーブに苦しめられて流れを掴めませんでした。ディフェンスでの粘りから最後に得点に繋げるところをチーム全員で考えて来週の試合に繋げていきます。リーグ戦の残り3試合を最後までエアリービーズらしいプレーを応援してください。2日間熱いご声援をありがとうございます。		
	25 第3セット 22									
	25 第4セット 20									
	15 第5セット 11									
	監督コメント									
要約レポート 第1セット、デンソーエアリービーズは連続得点や東レアローズ・クランの攻撃を粘り強く拾い、点差を広げ先行する。東レは石川の攻撃で得点を重ねる。終盤に東レはクランの攻撃、ブロックによる得点で勢いに乗り24-24で追いつく白熱した展開となる。そこからは両チーム譲らぬ一進一退の攻防の末、28-28からデンソー兵頭の連続得点でデンソーがこのセットを取った。第2セット、デンソーは吉田の相手ブロックを利用した巧みのあるプレーで得点を重ね、第1セットの勢いのままに先行。東レは黒後、クラン、石川の攻撃で得点を重ねる展開。終盤になりデンソーは吉田の活躍で7点差まで広げる。東レは石川、深澤のサービスエースや小川、黒後のブロックで2点差まで追いつくも、デンソーが逃げ切りこのセットも連取した。第3セット、東レはサーブプレーが安定し多彩な攻撃で得点を重ね先行する。デンソーは吉田と交代し守備固めに入った川端、リベロの福留が東レの攻撃を粘り強く拾うも、勢いに乗った東レがこのセットを取り返した。第4セット、東レはクラン、石川、黒後の攻撃、デンソーは吉田、横田、中元の攻撃で得点を取り合う展開となる。テクニカルタイムアウト後、東レがクランのブロック、黒後のサービスエースで点差を広げる。デンソーは流れを変えるべくキャプテン森谷をリリーフサバーで投入するが、東レの守備が固く、そのまま東レがこのセットも連取した。第5セット、東レは黒後、石川を前衛としたポジションに変更してスタートとした。序盤から両チームともサーブで相手チームのサーブプレーを崩し、ブロックと運動した守備で一進一退のラリーの応酬となる。10-10と終盤まで拮抗した展開だったが、東レ黒後のブロックによる得点から突き放し、このゲームに勝利した。										

試合番号 : 467		試合会場 : グリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園体育館)				観客数 : 2,131				
開始時間 : 13:05		終了時間 : 15:48		試合時間 : 02:43		主審 : 渡部 菜保子		副審 : 津嶋 由香		
久光スプリングス		通算 21勝 9敗 ポイント : 60		16 第1セット 25		埼玉上尾メディックス		通算 21勝 8敗 ポイント : 62		
監督コメント	まずは、このような熱い試合を繰り広げた両チームを讃えたいです。相手のサーブで崩され、なかなか上手く攻撃を作れず苦しい場面も多くありましたが、ラリーの中で粘り負けず、一人ひとりがハードワークできたことが今日の大きな勝因だと思います。今シーズンラストのホームゲーム、応援の力も借りながら、2連勝することができました。たくさん応援ありがとうございます。			3	25 第2セット 23		2	久光スプリングス、ホームゲーム勝利おめでとうございます。非常に悔しい敗戦となりました。しかしながら、選手たちは追い詰められた場面でも自信を失うことなく、勇気を持って戦ってくれました。今日のようなタフなゲームを経験できたことはチームの成長につながります。チーム全体で最後まで団結した姿を見てくれたことを誇りに思います。ご声援ありがとうございます。		
	27 第3セット 29									
	25 第4セット 22									
	22 第5セット 20									
	監督コメント									
要約レポート 今シーズン最後のホームゲームとなる久光スプリングスと埼玉上尾メディックスがファイナル4進出へ負けられない一戦。第1セット、埼玉上尾のロゾが緩急をつけた攻撃とサンティアゴの高さのあるスパイクで15-5と大量にリードをする。一方久光は、途中から入ったファンヘッケが3本連続でスパイクを決めるも、25-16で埼玉上尾が先取した。第2セット、スターティングメンバーをファンヘッケ、平山に入れ替えた久光は、序盤から勢いをつける。対する埼玉上尾は、内瀬戸、山岸が粘りのリブを見せ、長いラリーをものにするが、25-23で久光が取り返す。第3セット、埼玉上尾の佐藤とロゾの両エースがスパイクを決め、6連続得点をするなど点差を広げる。久光は石井、ファンヘッケの力強い攻撃で24-24と追いつくも、埼玉上尾がこのセットを制した。第4セットに入ると、埼玉上尾は青柳の速攻で流れを掴むが、久光は栗の巧みなトスワークから多彩な攻撃を繰り広げ、一進一退の攻防となる。25-22で久光が取り、試合はフルセットとなる。第5セットに入ると、両者一歩も引かず点を取り合い、この日一番の盛り上がりを見せる。久光の中島がスパイクを決めると、埼玉上尾の佐藤、ロゾも得点を重ね、デュースにもつれ込む。最後は久光の石井が決め、22-20で久光が大接戦を勝利した。										

試合番号 : 468		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 700				
開始時間 : 11:00		終了時間 : 12:23		試合時間 : 01:23		主審 : 服部 篤史		副審 : 長崎 有紗		
JTマーヴェラス		通算 21勝 9敗 ポイント : 62		25 第1セット 20		PFUブルーキャッツ		通算 11勝 19敗 ポイント : 32		
監督コメント	PFUは、攻撃を中心にアグレッシブなチーム。自分達の気持ちが引いてしまったリズムを持っていかれる。試合の前半からサイドアウトゲームとなり苦しい時間もあったが、最後まで集中力を高く保つことができた。1人が役割を明確にして、チームの連帯感を高めることがもっとも重要なことだと確信したゲームとなった。残り少ないレギュレーション、しっかりと自分達の強みを出していきます。2日間ありがとうございます。			3	25 第2セット 22		0	第1、第2セットで終盤、得点を取る事ができず、セットを奪えなかったことが悔やまれる。選手たちはベストを尽くしたと思う。残り試合わずかの中、少しでもチームとして成長できるようにしていきたいと思う。JTは素晴らしいチームだと思うのでこの戦いを無駄にしないよう、学ばべきところは学んでいきたい。本日も応援ありがとうございます。		
	25 第3セット 15									
	第4セット									
	第5セット									
	監督コメント									
要約レポート V・ファイナルステージ進出に向け連敗を避けたいJTマーヴェラスと、昨日に続き連勝し勢いに乗りたPFUブルーキャッツの一戦。第1セット、JTは林、ロウ、PFUは銅谷、アコスタを中心にポイントを重ねていく。中盤JTはタツダオのサービスエースで一歩抜け出し、更に榎原、林が連続でブロックを決め勢いに乗る。PFUもアコスタ志摩がブロックを決め応戦するが、JTは田中が緩急織り交ぜた攻撃でポイントを取りこのセットを取った。第2セット、このセットも序盤から互いに点を取り合い一進一退の展開となる。JTはタツダオのブロックポイントからリズムに乗り、ロウが連続で得点すると、PFUは志摩のブロックやアコスタの強打で応戦する。PFUは志摩のサービスエースで勢いに乗り、ジャンの連続ポイントでリードを奪うが、JTは田中が攻守で奮闘し、連続で得点し逆転する。終盤まで息を呑む攻防が続くが最後はロウが強打でポイントを奪いこのセットも連取した。第3セット、序盤からJTは勢いに乗ると要所で榎原、タツダオがポイントを奪いリードする。PFUも銅谷やジャンの攻撃で応戦するが、JTの勢いは止まらず、林、田中が攻守に活躍し徐々にリードを広げる。終始リードをしたJTは最後は林がスパイクを決め、この試合に勝利した。										

試合番号 : 469		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 1,100			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:52		試合時間 : 01:52		主審 : 増岡 三佳子		副審 : 佐々木 伸子	
岡山シーガルズ		通算 8勝 22敗 ポイント : 28		25 第1セット 16		NECレッドロケッツ		通算 20勝 10敗 ポイント : 64	
監督コメント	昨日の重い気持ちを引かず、勝負どころの第3セットにうまく力が結集できなかったことが、チャンスをつぶす原因になってしまった。残り少ない試合、確かな技術の精度を少しでも上げながら、最後まで戦い抜いていきたい。2日間に渡り、皆様の思いのこもったたくさんの応援の後押しをありがとうございます。			1		3	今日もたくさんの応援をありがとうございます。序盤は岡山のサーブレシーブを崩せず相手のリズムでゲームが進んでしまいました。自分達のオフェンスのリズムを我慢しながら整えることができたことが良かったです。苦しいゲームを勝ちきれることはチームとして大きなポイントとなっているので、この勢いを来週につなげていきたいと思ひます。次戦もたくさんの熱い応援をよろしくお願ひします。		
				20 第2セット 25					
				23 第3セット 25					
				19 第4セット 25					
				第5セット					
要約レポート ホームゲームで何とか勝ち星を上げたい岡山シーガルズと、V・ファイナルステージ進出へ向け昨日に続き連勝を目指すNECレッドロケッツの一戦。第1セット、序盤から岡山は佐伯やタナッチャ、NECは古賀や古谷を中心に攻撃を展開し一進一退の攻防が続く。中盤に入り岡山は宇賀神のブロックや及川の速攻で得点し抜け出すと、及川のサービスエースなどでリードを広げる。NECも古谷や山内のアタックなどで反撃するが、その後も岡山は多彩な攻撃で得点を重ね、セットを先取した。第2セット、岡山は佐伯、タナッチャ、NECは古賀、古谷を中心に攻撃し互角のスタートを切る。岡山はブロックなどで抜け出しにかかるが、NECも反撃し競り合いが続く。中盤、NECは古賀の活躍でリードを奪うと、サーブで相手のレシーブを崩し得点を重ねる。岡山も粘り強いレシーブからラリーを制し流れを掴みにかかるが、NECがリードを守り切りセットを奪い返した。第3セット、立ち上がりからお互いが粘り強いレシーブから好ラリーを展開し会場を沸かせる。岡山は佐伯のバフフルなアタックや金田の巧みな攻撃でリードを奪うが、NECも古賀や島村の活躍で反撃し競り合いが続く。終盤まで互角の展開が続くが、NECが古賀のサービスエースなどで競り合いを抜け出しこのセットを奪った。第4セット、序盤、勢いに乗ったNECが古賀・古谷・山内の得点などでリードを奪う。岡山も金田や中本を中心に攻撃し反撃するが、NECは山内のブロックや山田のサービスエースなどでリードを広げる。その後もNECは古賀を中心に得点を重ねこのセットも奪い、昨日に続き連勝を飾った。									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									